

12日(月)、初声中学校2年生が、県立海洋科学高校の先生の出前授業を受けました。テーマは「海洋気象」でした。

海陸風の影響で、マリンスポーツや船の出航は午前中がよいのだそうです。実習船湘南丸では、航海中、気象観測を行い、それを気象庁に、インターネットで送っていて、これが貴重なデータになります。アカマンボウ、シイラ、ミズウオなど珍しい魚の写真も紹介されました。これらのデータは水産庁に送られるそうです。



温帯低気圧と熱帯低気圧の違いにも触れられました。温帯低気圧は、楕円形が多く、寒冷前線や温暖前線を持ち、熱帯低気圧(台風やハリケーンなど)は、ほぼ円形で、前線を持たないのが普通です。北半球で、背中に風を感じたら、気圧の低いところは左手前にある(ボイス・バロットの法則)ことについても説明がありました。

8日(木)、南下浦小学校4年生が藻塩づくりに挑戦しました。4年生は、2学期に、昔ながらの製塩方法で高抜海岸に塩田を作り、塩づくりをしました。今回は、



金田の漁師さんに、アカモクとワカメと海水を用意していただきました。

まず、アカモクとワカメを湯がき、それを刻み、煮詰めていきます。アカモクを使った班では薄い茶色の塩ができ、ワカメを使った班ではうっすら灰色の塩ができました。取組の後、子どもたちは「みんなにアカモクの良さを知らせたい」という思いを持ちました。塩、アカモクの学習は、さらに続くそうです。



22日(木)、三浦ロータリークラブの55周年記念例会(於うらり)に、名向小学校の6年生6名が招待され、海洋教育の授業について発表しました。



自分たちが経験した真珠の授業について、堂々と発表していました。胸には、20日の卒業式で、小パール隊の皆さんにいただいた真珠のネクタイピンが光っていました。

ロータリークラブの方たちにもたいへん好評でした。

三浦市が取り組んでいる海洋教育の一つの成果です。

3月1日より先生方のPC上に、「海洋教育カリキュラム一覧」というリンクアイコンが存在しています。海洋教育カリキュラムを投稿、閲覧可能なイントラネットサイトです。ぜひご活用ください。

今年度最終号です。ご愛読ありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。